

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		辻久保小合志線改良事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	人々が、安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名 上原 哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名 川俣 洋一郎
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	工務班	(内線) 2277
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果
		1	8	2	3	10079		8
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 18 ~ 25 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	本路線は生活道路(通学路)の役割を果たすため、市道L=540mの歩道設置及び改良を行う事業である。本路線は、生活道路(通学路)として利用されているが、歩道が無く幅員が狭いため、安全性に支障をきたしている。地元要望により必要性の検討の結果、平成18年度から事業開始となった。変化は見られない。
【業務の流れ】	平成18年度 ①関係機関との協議②測量設計業務委託 平成19年度 ③関係機関との協議④地元説明会⑤建物等補償鑑定業務委託 平成20年度 ⑥関係機関との協議⑦境界立会⑧用地買収⑨分筆・所有権移転登記 平成21年度～⑩関係機関との協議⑪境界立会⑫用地買収⑬分筆・所有権移転登記⑭道路改良工事
【主な予算費目】	事業費は、委託費(測量設計、鑑定業務等)・公有財産購入費(用地取得費)・補償費・工事費に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域住民並びに道路利用者からの道路拡幅の要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 関係機関との協議、用地交渉、分筆・所有権移転登記、道路改良工事(一部)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 関係機関との協議、用地交渉、分筆・所有権移転登記
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア 道路改良工事	(単位) m イ 用地買収面積 m <sup>2</sup>
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 辻久保小合志線道路	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ア 全延長 m イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 歩道を設置することにより安全・快適に通行できるようにする。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ⇒ア 整備率 % イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 工事着手に向けての用地買収	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	m	0	0	78	103	0	0	0	
	イ	m <sup>2</sup>	0	34	590	26	589	288	288	
⑤ 対象指標	ア	m	540	540	540	540	540	540	540	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	%	10	20	30	30	40	50	60	
	イ									
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	1,000	200	18,500	5,800	13,700	3,800	3,800
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	81	98	1,000	364	800	200	200
	(A) 事業費計	千円	1,081	298	19,500	6,164	14,500	4,000	4,000	
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件 費	正規職員従事人数	人	2	7	2	6	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	784	383	784	354	784	784	784	
	(B)人件費計	千円	3,112	1,532	3,120	1,409	3,120	3,120	3,120	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,193	1,830	22,620	7,573	17,620	7,120	7,120	

総トータルコスト 全体計画	18 ~ 25 年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	109,100
	5,969
	115,069
	19
	5,087
	20,246
	135,315

合志市

事務事業名	辻久保小合志線改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度において用地買収の目標値を達成できなかったため、引き続き交渉を行い事業完了を目指す。
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--